

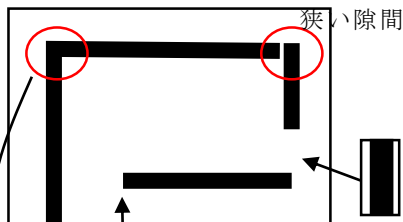
チップLEDをアルミテープ回路で点灯する

青森・野呂茂樹

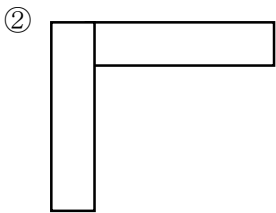
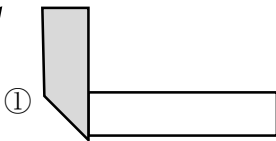
【つくりなど】

①台紙にアルミテープを貼り付け、回路をつくれます。

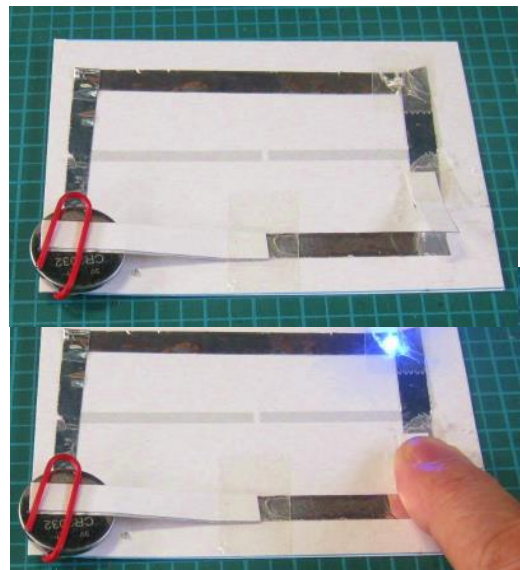
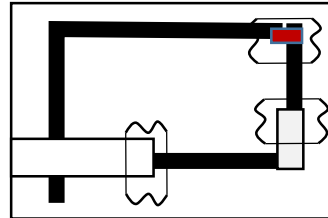
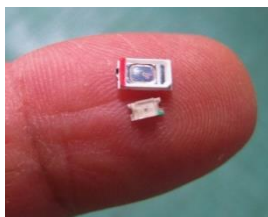
*アルミテープ（接着剤は絶縁性：100円ショップ／ホームセンター）を5~10mm幅に切って使用しました。ホームセンターのものが剥離紙をはがしやすいです。



裏返して端をセロファンテープで留める。

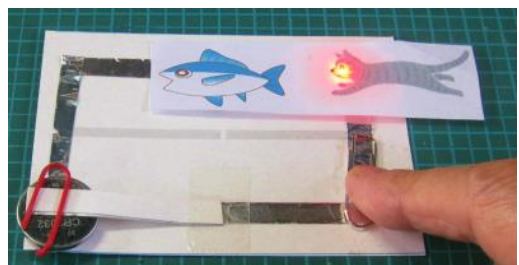


②チップLEDをセロファンテープで貼り付けます。



③ボタン電池(3V)を差し込み、スイッチを押すと、LEDが点灯します。

④スイッチを取り除き、“クリップ”、“消しゴム”“シャープペンの芯”“はさみ”などをおいて電気を通すかどうか調べましょう。

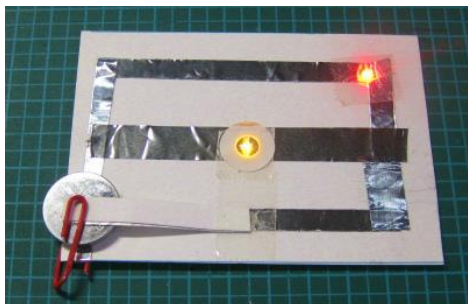
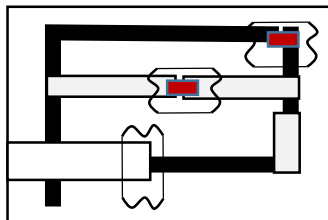


【発展例】

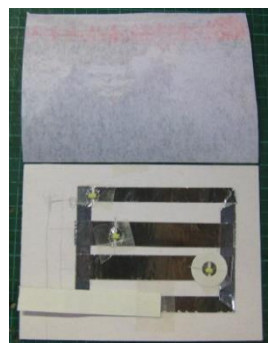


⑤ 導電性アルミ箔粘着テープ（接着剤が電気を通す材質のもの）で、回路を追加します（端を折ったアルミテープを重ねしっかりと押さえる方法もありますが、電氣的接触が不安定になることがあります）。

⑥ チップLEDをセロファンテープで貼り付けます。



【発展例】



* 導電性アルミ箔粘着テープ：寺岡製作所
(10mm×20m) 1090円（送料別）

また、幅広のアルミテープから短冊状につくる代わりに、例えば、

* 銅テープ（接着剤は絶縁性）：アーテック
(6mm×32m) 1040円（送料込）

を利用することができます。

動画 https://youtu.be/ExIFDFLw_jQ

関連動画

<https://youtu.be/4XWd2DU2nRo>

https://youtu.be/u4hYCDjX_wM

<https://youtu.be/Ffn66U7rDqM>